

二〇〇九年一〇月三十一日（太閤園・桜宮公園参加者一〇名）

広池の一隅染める櫺もみぢ	菜々
色変へぬ松のほとりに駐車かな	〃
石路日和至福と園を巡りけり	〃
聞き役の友とベンチの日向ぼこ	ひかり
川船に手を振り返す秋日和	〃
庭園を貫く水の澄めりけり	宏虎
林泉の岩に迫り出す櫺紅葉	わかば
紅葉晴白き水脈引く水上バス	ぼんこ
箒目を立つるや否や散紅葉	きづな
存問のごと石仏に小鳥来る	かれん
鯉跳ねて水面の紅葉影乱す	百合
な滑りそ木の実たくさん落つる径	よし子

吟行句会みのる選

二〇〇九年一〇月三十一日（太閤園・桜宮公園参加者一〇名）